

# ごあいさつ



いび川農業協同組合  
代表理事組合長

堀 尾 茂 之

平素よりJAいび川の各事業に格別のご利用を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国の経済情勢は、輸出や生産が引き続き弱含んでおり、雇用・所得環境においても増加基調から一転、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあります。また、金融政策では「物価安定の目標（消費者物価の前年比2%上昇）」の実現を目指した量的・質的金融緩和政策が継続され、国内金利は依然として低位での推移となりました。

農業を取り巻く環境につきましては、農業従事者の高齢化や担い手・後継者不足等による農業従事者の減少、耕作放棄地の増加等も進み、依然として厳しい環境におかれています。

JAをめぐる情勢では、令和元年9月に農水省が農協改革集中推進期間の進捗状況等を公表し、JAの自己改革に一定の進捗が見られたと評価をされました。その一方で、地域農業を支える農協経営の持続性をいかに確保していくかが課題とされました。さらに、改正農協法附則に定められた「准組合員の事業利用に関する規制」についても、令和3年3月に結論を得るものとされています。

こうした状況を踏まえ、JAいび川としましては、第9次中期経営計画（令和元年度～3年度）において、「農業者の所得増大の実現」「協同による地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を基本目標と定め、取り組みを進めてまいりました。

特に営農経済事業の一体的な運営、出張所や事業所の見直しを進めてきましたが、急激な社会の変化、環境の変化によりさらなる効率的な事業運営が求められる状況となってきました。

令和2年度は中期経営計画の中間年度として、掲げた3つの基本目標実現のため、「店舗の集約・再編の検討」「営農経済事業の収支改善」「内部管理態勢の高度化」に取り組み、組合員や地域の皆様から必要とされるJAを目指して事業を展開してまいります。

今年度も組合員の皆さまの負託に応え、皆さまとともに邁進する所存です。

ここに「2020年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、是非ご一読いただき、JAいび川への理解を深めていただきますとともに、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月